

平成 28 年 4 月 30 日

農学部門長 殿

研究代表者 宮崎彰  
助言・評価者 尾形凡夫

平成27年度農学部門個人・グループ研究プロジェクト  
研究成果報告書

標記について、下記のとおり報告いたします。

記

1. プロジェクト名称 西アフリカ・ベナン共和国の乾田稲作における出芽・苗立ち安定生産技術の開発

2. 研究成果（2ページ程度）

（別紙の通り）

3. 研究助言・評価者のコメント（300字程度）

本プロジェクトは、JICA や JISNAS の協力を得て実施されたものであり、現地に大学院生を派遣し、人材の育成や交流を図るとともに、現地研究機関と共通の課題について研究を推進するものである。アフリカにおける米の消費量は急増しており、生産の増加が要望されているが、灌漑設備のほとんど発達していないアフリカにおいて、生育や収量は水環境に大きく制限されている。このようなことから、土壌水分の保持力を高め、出芽・苗立ちを安定化させるための手段として耕種的技術の改良が試みられた。稲作安定生産技術の確立に向けて、現地で試験栽培が行われた点で高く評価できる。

4. 研究成果公開実績

学会口頭発表－

中央アフリカガボンにおける食糧需給の現状と課題. 日本作物学会四国支部講演会（2015）

西アフリカ・ベナン共和国における稲作の現状. 日本作物学会四国支部講演会（2016年11月発表予定）